

## 避難所のあり方などに 鋭い指摘や意見 4つの区で議会報告会

3月議会の報告を中心とした市議会主催の議会報告会・意見交換会が、6月29・30日に4つの区を会場に行なわれました。

このうち、有田地区公民館では、30人以上の市民が参加し、「市の避難所は、要支援者が避難しやすいとはいえないところに指定されている。そのため、要支援者は他の人の邪魔になるのではないかと遠慮している実態がある。何とかすべきではないか」「市には146億円もの財政調整基金があるというが、同時に大きな事業も目白押しだ。今後の事業や財政の見通しはどうなっているのか。介護保険料引き下げなど、暮らしを支えることに使うべきではないか」といった指摘や意見が出されました。



有田地区公民館で行われた議会報告会・意見交換会

## 上越を縦断 長野県にリレー 7/1 国民平和行進

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 507 2016年7月24日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

# 生命尊重の町では今でも老人医療費が格安

## 旧沢内村を視察

市議会厚生常任委員会(平良木議員所属)は、このほど行政視察として福島県泉沢村、宮城県仙台市、岩手県西和賀町を訪れ、障がい者施策や高齢者支援などの先進例を学びました。

このうち、西和賀町は、多くの村民の命を救った名村長として今なお尊敬されている深澤晟雄(まさお)氏が村長を務めた沢内村と、隣の湯田町が合併してできた町です。

その町にあり、生命尊重の伝統を受け継ぐ町立西和賀さわかち病院や、深澤晟雄記念館を訪れました。

## 高齢者医療費は格安

旧沢内村は、深澤村長の努力で、全国に先駆けて65歳以上の医療費の無料化を実現したほか、日本初の乳児死亡率0%を達成するなどしてきました。この結果、村民の負担を軽減しながらも、村としての医療費の支出もかなり低く抑えられてきたとことです。

これは、保健師の活動を重視



深澤晟雄記念館の前で



一昨年新築した町立西和賀さわかち病院のリハビリ室

するなど、徹底した予防医療を進め、軽いうちに病院に気軽にかかっても重篤化を防ぐ努力を重ねた結果とのこと。この伝統の中で、合併した現在でも、高齢者の医療費自己負担は、通院で月1500円、入院で月5000円が上限とのこと。

## 日本共産党議員団 市政報告会

8月5日(金)

18:30~20:30

## 上越市市民プラザ 第2会議室

国政と同じように激しく揺れ動いている市政。「あれはどうなった」「そこが聞きたい」といったことがたくさんおありと思います。

そんな疑問に答える「市政報告会」を行います。お誘い合わせの上、ふっつてご参加ください。



元気に出発する平和行進の一行

今年も日本中をくまなく歩く「国民平和行進」の一行が、上越にやってきました。5月に北海道礼文島を出発してから、道内や東北各地を行進してきた「通し行進者」を先頭に、地元から参加した30人余りの市民を含めた総勢が、直江津海浜公園から上越大通りを南下、妙高市を経て県境で長野県のメンバーにバトンタッチしました。

途中、市役所で市長や市議会議員からの励ましや募金を受けました。